

# Cultural Property Conservation project

## 「文化財修理に関する講習会(金箔)」の実施

高岡市連携事業における平成21年度報告書

富山大学芸術文化学部教授 林 暁



前田氏による実技指導

昨今、富山大学芸術文化学部としてかかわる文化財の修理、特に祭屋台の修理・修復に関して、祭屋台の装飾彫刻や、天井の鏡板、縁周りなどに施される金箔の技術が問題になることがあり、地方によって同じ金箔貼りでもそれぞれの技法があることが知られている。金箔貼りの技法や、下地となる漆塗りの技法によって、金箔の仕上がりや、強度、耐久性などにも差があると考えられるので、富山県の技能者の技術向上と金箔技術の再確認をするために、金沢の今井金箔社長の今井圭一氏からの紹介を受け、京都在住で、「箔押し屋 浩峰」を主宰されている前田淳二氏を講師に招いて、平成22年2月15日(月)に講習会を行った。講習には本学学生の他、修理事業に従事している地元の職人さんや、高岡地区の箔押しに関する仕事に従事されている方も集まり、総勢40人ほどが実習も交えた前田氏の講習に参加した。

北陸の箔押しの特徴はアルコールに溶いた漆に硫黄を混ぜたものを接着剤として、塗って間もない箔下漆(塗り立てで非常に艶のある漆)に金箔を貼り、全反射に近い金色に金箔の色を見せるものであるが、前田氏が行う京都の箔押しは、比較的厚く擦り漆(日本産の生漆が最良)を施したものにやわらかく箔を乗せ、箔そのものの表情(金箔は出来上がったときは表面に小さな皺が認められ、金ぴかではないしっとりとした表情を見せる)を生かした仕上がりを見せる。それぞれの地方で異なる技術があり、どちらが正当でどちらが間違っているなどと云う議論は意味がないが、それぞれの特徴や良さを学び合うことがこれからの工芸技術を伝承して、さらに新たな創造につなげていくためには有効であろうと思う。

### 文化財修理に関する講習会(金箔)

この度、京都の前田淳二氏を講師にお迎えして、箔押しに関する講習会を開催する事となりました。前田氏は35年余に亘って仏像や仏閣の箔押しの仕事に専門にされて、「箔押し屋 浩峰」として京都の箔仕事 tradition を守り、今日に引き継がれていらっしゃいます。

昨今、文化財の修理、特に高岡の御車山をはじめとする祭屋台などの有形、無形の指定を受けた文化財を保存修理する機会が増え、漆塗りや金箔貼り等の基本的な工芸技術をしっかりと確認し、後世に伝えていく必要に迫られています。今回の講習は、そうした保存修理に携わる人、これから志す人に多数受講していただき、箔押しに関する考え方や技法を学んで頂ければ幸いです。ご案内申し上げます。

- 主催：富山大学芸術文化学部
- 日時：平成22年2月15日(月)10:00～16:00
- 場所：富山大学芸術文化学部 漆実技室Ⅰ
- 講師：前田淳二氏
- 対象：富山県で文化財の保存修復に携わっている方 富山大学学生 日本工芸会会員
- 受講人数：40名程度
- 受講料：無料

#### 前田 淳二氏 略歴

昭和27年	京都に生まれる
昭和50年	父(浩)に弟子入りする
平成2年	光徳寺明浄寺常念寺
3年	光福寺西生寺
4年	西林寺柳徳寺徳徳寺
5年	妙宗寺光教坊浄宗寺
6年	西福寺自正寺
7年	光明寺徳徳寺
8年	浄専寺
9年	徳念寺大願寺宮前浄土
12年	福隆寺正徳寺本行寺福徳寺徳徳寺
13年	大満寺光福寺宿願寺宿願寺西生寺
14年	明安寺円福寺清雲寺明安寺光明寺
16年	徳徳寺福泉坊徳徳寺浄専寺長円寺
17年	西教寺
18年	超専寺

現在、京都で「箔押し屋 浩峰」主宰

#### 申込方法・お問い合わせ

電話、E-mail、FAX、はがきのいずれかにより、「氏名、電話番号」を下記までお知らせください。  
高岡キャンパス 芸術文化系研究協力チーム  
〒933-8588 高岡市二丁目180番地  
TEL:0766-25-9139 FAX:0766-25-9212  
E-mail:文化財@ipc.f.uoy.ac.jp  
※お申し込みの際にはお住まいの個人情報は、当学課のみで使用し、第三者に提供することはありません

講習会のパンフレット



講習会会場風景



漆の上に置いた金箔が少しづつ漆になじんでゆく様子

箔の扱いは初心者にとっては大変に難しく、講師の前田氏に直接丁寧な指導を受けてもなかなか最初の段階で道具や金箔そのものが扱えずに苦心していた。前田氏は、手の延長のように箔鋏を扱い、ともすると皺が寄ったり切れてしまったりする金箔を思い通りにあしらって、ほんの一部ではあるが長年の経験と技を見せていただく事が出来た。また、前田氏の使用する箔鋏（ご自身で作られたもの）は、理にかなった大変に美しい形状で使いやすく受講者の印象に残った。専門の職人さんである受講者も京都の一流の技を見学、体験することが出来、様々な金箔の表現があることを知って、有意義な時間を過ごすことが出来たと思う。

最後にこの講習をお引き受けいただいた前田淳二氏と今井金箔社長の今井圭一氏に感謝の意を表してしめくりとしたい。



講習会参加者の実習



前田氏による箔押し指導